

第2期滝川市小・中学校適正配置計画改訂（案） に関するアンケート調査結果

目 的

本アンケートは、小・中学校の統合を含む適正配置計画改訂（案）に関する、在校生および未就学児の保護者の意向や懸念、期待を把握することを目的としています。アンケート結果は、適正配置計画の策定に反映させるための重要な資料として活用されます。

調査対象者 (対象人数 1,012人)

- ①在校生保護者 752人（統合対象校）※複数学年の子どもを持つ保護者を除く
【滝川第一小学校（147人）、滝川第二小学校（185人）、西小学校（163人）、江部乙小学校（30人）、江陵中学校（156人）、開西中学校（71人）】
- ②未就学児保護者 260人（統合対象校区）
【滝川第一小学校区（80人）、滝川第二小学校区（94人）、西小学校区（73人）江部乙小学校区（13人）】

調査方法

- 1) 依頼方法
 - ①各学校の「tetoru」から配信 ※令和7年10月21日（月）再依頼
 - ②依頼文を「郵送」 ※令和7年10月21日（月）再依頼
- 2) 回答方法
インターネット（Webフォーム）

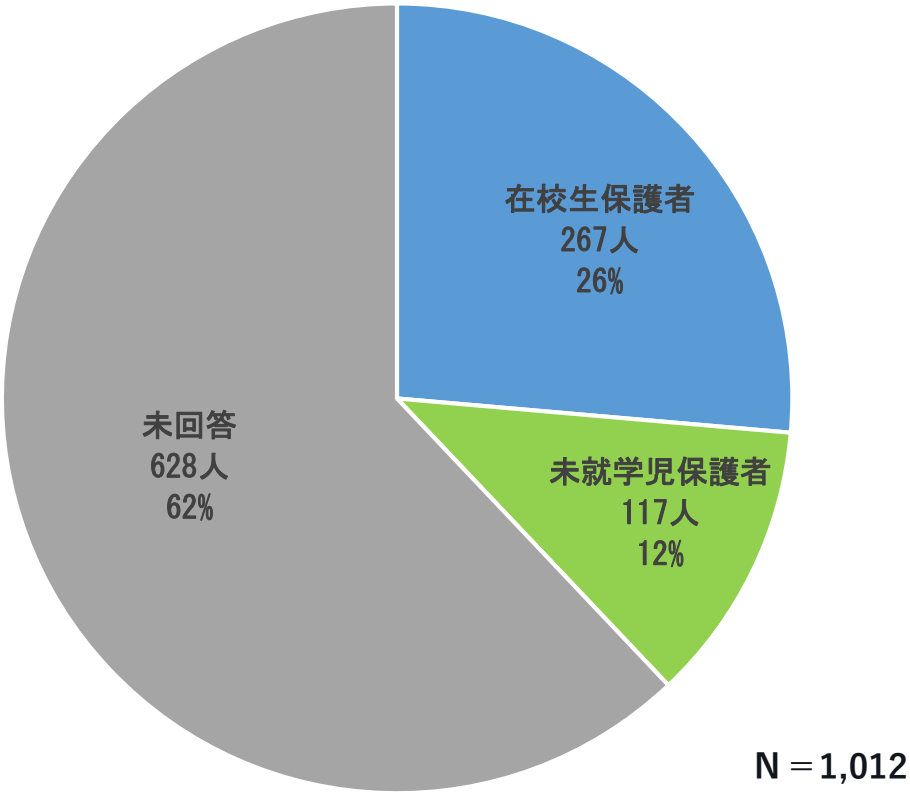
調査期間

- ①令和7年10月14日（火） ～ 令和7年10月27日（月）
- ②令和7年10月14日（火） ～ 令和7年10月27日（月）※再依頼後 令和7年10月31日（金）まで延長

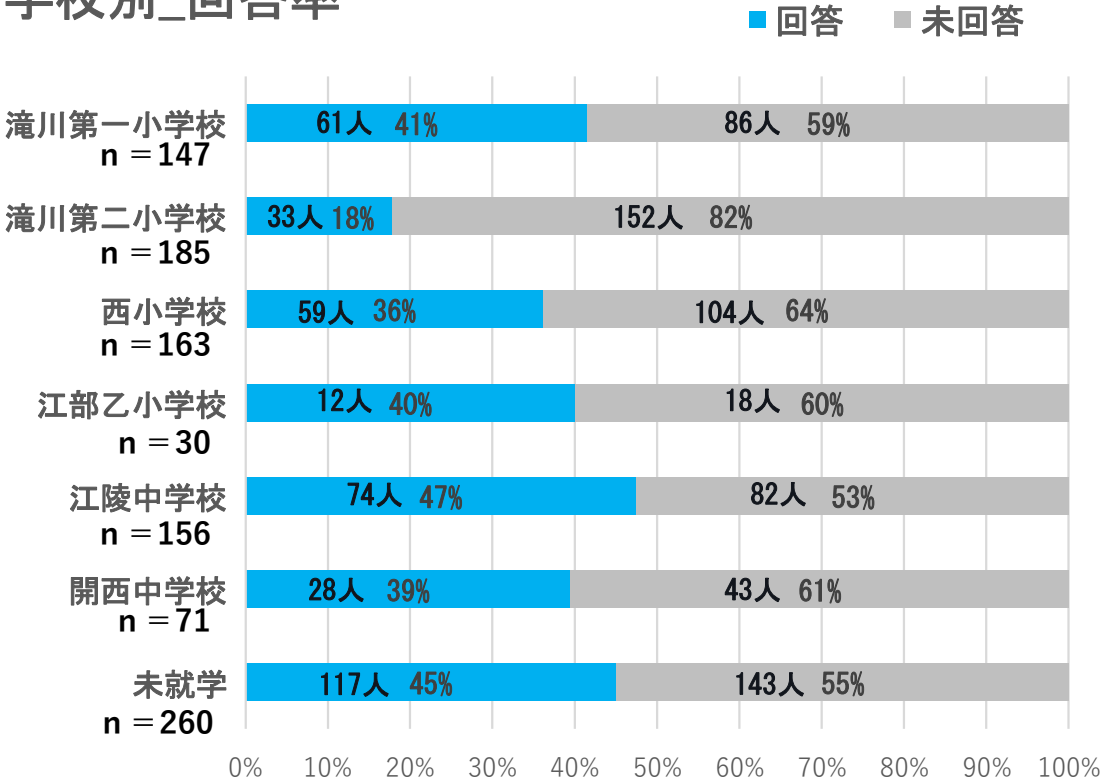
回答状況

対象者1,012人に対し、384人の回答がありました。
回答率 37.9%

保護者別_回答率



学校別_回答率



- 保護者別の回答は384人の回答に対して、在校生保護者267人、未就学児保護者117人から回答を得られた。
- 学校別の回答率は滝川第二小学校の回答率が低い結果となったが、各学校においても概ね4割近い回答を得られた。

令和13年度の小学校統合（案）について

Q 1：令和13年度に小学校（滝川第一小学校、西小学校、江部乙小学校）の統合を検討していますが、あなたの考えを教えてください。

全体として「統合には賛成」が24%、「統合はやむを得ない」が53%、両者を合わせた意見は77%となり、大半を占めた。一方で「統合してほしくない」とする意見は8%となった。

「統合には賛成」の主な選択理由

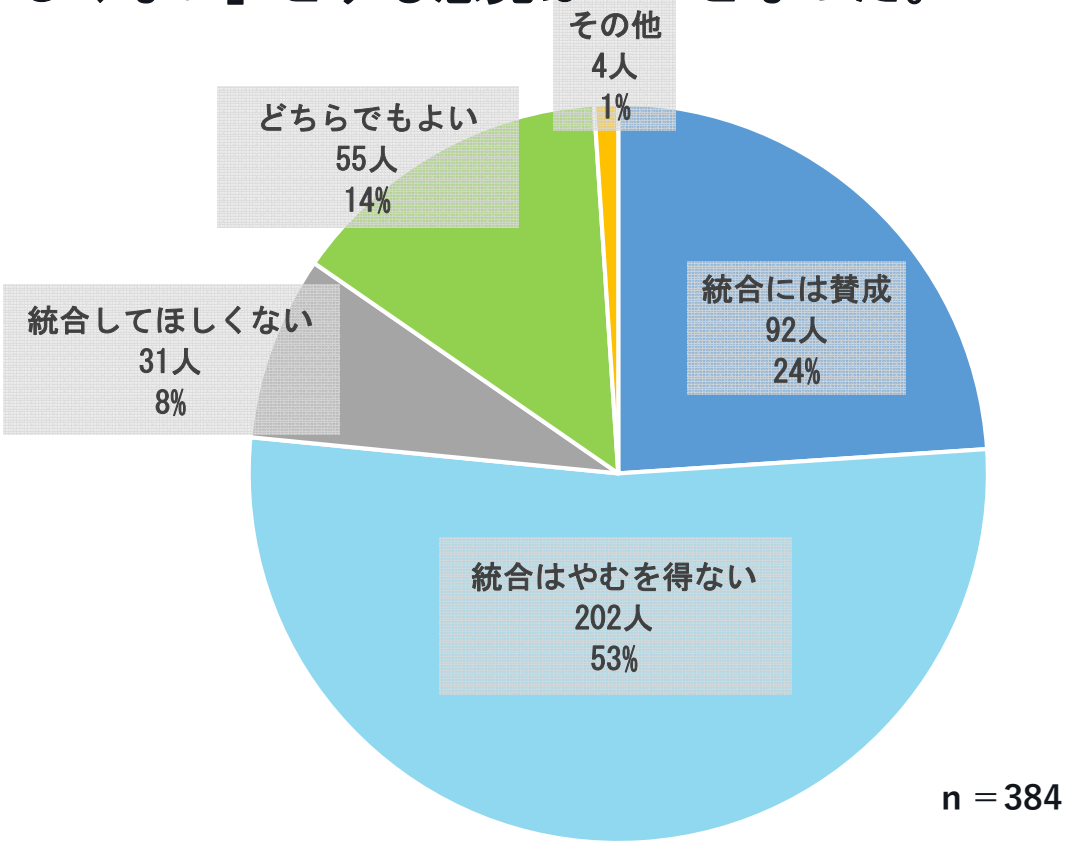
- ・ 少人数の良さもあるが、人数が増えることで社会性や協調性が育まれ、人間関係の交流や多くの経験ができる。
- ・ 少子化は進む一方で、統合しないと教育環境の質が維持できなくなる。
- ・ 学校行事などが成り立たなくなっている現状から、統合により学校行事が今までよりも活発になる。

「統合はやむを得ない」の主な選択理由

- ・ 通学の不便さはあるが、教育環境を考慮すると仕方ない。
- ・ 少子化で児童数が減っているので統合は仕方ない。
- ・ クラス替えや友達の数が増えることは良い。

「統合してほしくない」の主な選択理由

- ・ 通学距離の増加によって負担が大きくなる。
- ・ 生徒に目が行き届かなくなる。
- ・ 小規模校には地域に根ざした良さがあるため、それを失いたくない。



「統合には賛成」や「統合はやむを得ない」を選択した人は、児童数の減少に伴い、適切な教育環境を維持するためには学校統合が必要だと考えており、「賛成」または「やむを得ない」という意見がありました。一方で「統合してほしくない」を選択した人は、通学手段に対する不安や負担を感じており、統合によって児童数が増加することで、教員がすべての児童に対応しきれなくなるのではないかと懸念を抱く意見もありました。

滝川第二小学校の統合時期について

Q 2：滝川第二小学校が新小学校に統合するのは令和18年度以降とすることを検討しておりますが、あなたの考えを教えてください。

全体として「令和13年度その他小学校の統合に合わせて統合すべき」が39%、「どちらでもよい」とする意見も39%と多い。一方で「令和18年度以降が妥当」とする意見は14%、「統合してほしくない」とする意見は6%となった。

「令和13年度その他小学校の統合に合わせて統合すべき」の主な選択理由

- ・ 同じタイミングで統合する方が子どもたちも環境の変化に順応しやすい。
- ・ 統合を先延ばしにする理由が理解できない。

「令和18年度以降が妥当」の主な選択理由

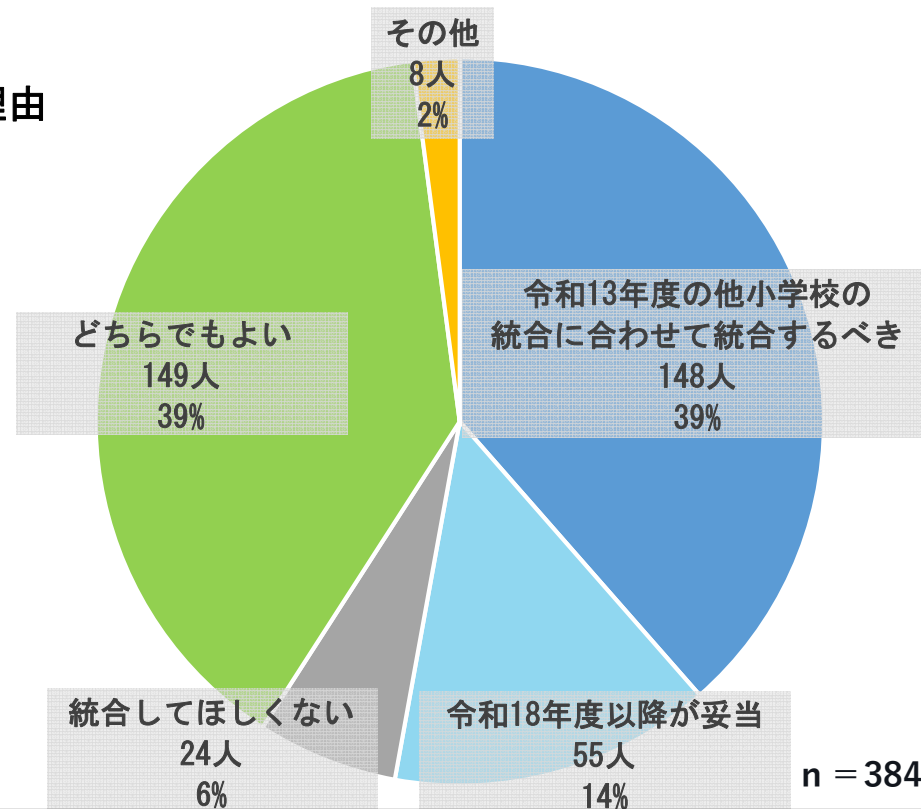
- ・ 急ぐ必要はない。徒歩で通学可能な児童が一定数いるので、統合は段階的に進めるべき。
- ・ 児童数の減少に合わせて統合を検討すべき。

「統合してほしくない」の主な選択理由

- ・ 通学距離が長くなり、送迎が大変。
- ・ 児童数を満たしているのであれば、そのまま存続してほしい。

「どちらでもよい」の主な選択理由

- ・ 市の方針に従う。
- ・ 卒業しているので、特に意見はない。
- ・ 統合可能な時期に、統合する方がよいと思う。



「令和13年度その他小学校との統合に合わせて統合すべき」と選択した人は、同じタイミングで統合する方が子どもたちも教育環境の変化に順応しやすいと考え、統合を先延ばしにする理由が理解できないという意見がありました。
また、「どちらでもよい」を選択した人は、卒業しているため関係ないと考え、市の方針に従うべきという意見もありました。一方で「令和18年度以降が妥当」を選択した人は、急ぐ必要はなく、児童数の減少に合わせて統合を検討すべきという意見がありました。さらに、「統合してほしくない」を選択した人は、通学距離が長くなり、送迎が大変になると考えており、児童数が満たされているのであれば、そのまま存続してほしいという意見もありました。

令和13年度の中学校統合（案）について

Q 3：令和13年度に中学校（江陵中学校、開西中学校）の統合を検討しておりますが、あなたの考えを教えてください。

全体として「統合には賛成」が30%、「統合はやむを得ない」が43%、両者を合わせた意見は73%となり、大半を占めた。一方で「統合してほしくない」とする意見は11%となった。

「統合には賛成」の主な選択理由

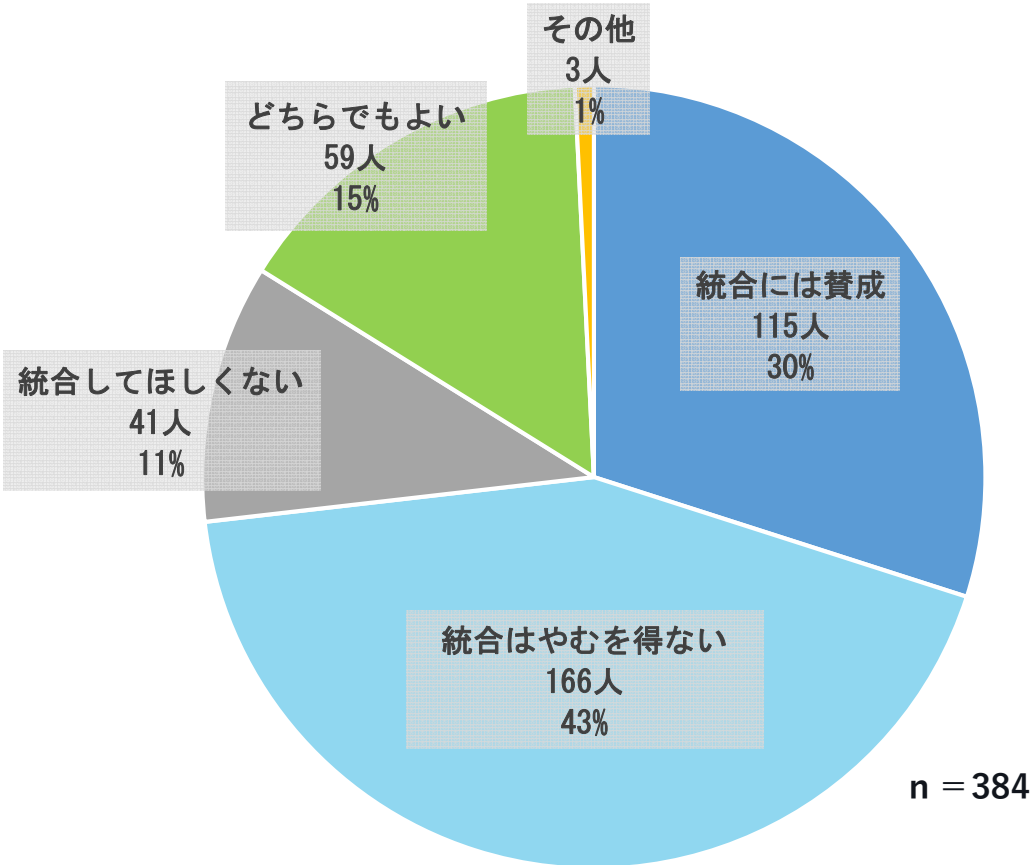
- ・生徒数が増えることで部活動や行事が充実する。
- ・開西中学校の生徒数減少が進んでいるため統合は必要。
- ・江陵中学校の校舎が古いので、新校舎での統合を希望。

「統合はやむを得ない」の主な選択理由

- ・少子化で生徒数が減っているため統合は仕方ない。
- ・生徒数が増えることで部活動が充実し、教育の幅が広がる。
- ・親の負担が増えるが、少子化や財政の問題を考えると統合は必要。

「統合してほしくない」の主な選択理由

- ・送迎負担が増す。
- ・新しい校舎を使わずに古い校舎を使う意味がわからない。
- ・生徒に目が行き届かなくなる。



「統合には賛成」や「統合はやむを得ない」を選択した人は、生徒数の減少に伴い、適切な教育環境を維持するためには学校統合が必要だと考えており、「賛成」または「やむを得ない」という意見がありました。一方で「統合してほしくない」を選択した人は、通学手段に対する不安や負担を感じており、開西中学校を利用しないことへの不満を抱く意見もありました。

統合に関する不安・負担・課題について（複数回答可）

Q 4：統合に関して不安・負担・課題だと感じていることについて、あなたの考えを教えてください。

「通学手段・通学路」を選択した人が最も多く、「友人関係」や「学習環境」、「学校施設」を選択した人も多かった。

「通学手段・通学路」の主な選択理由

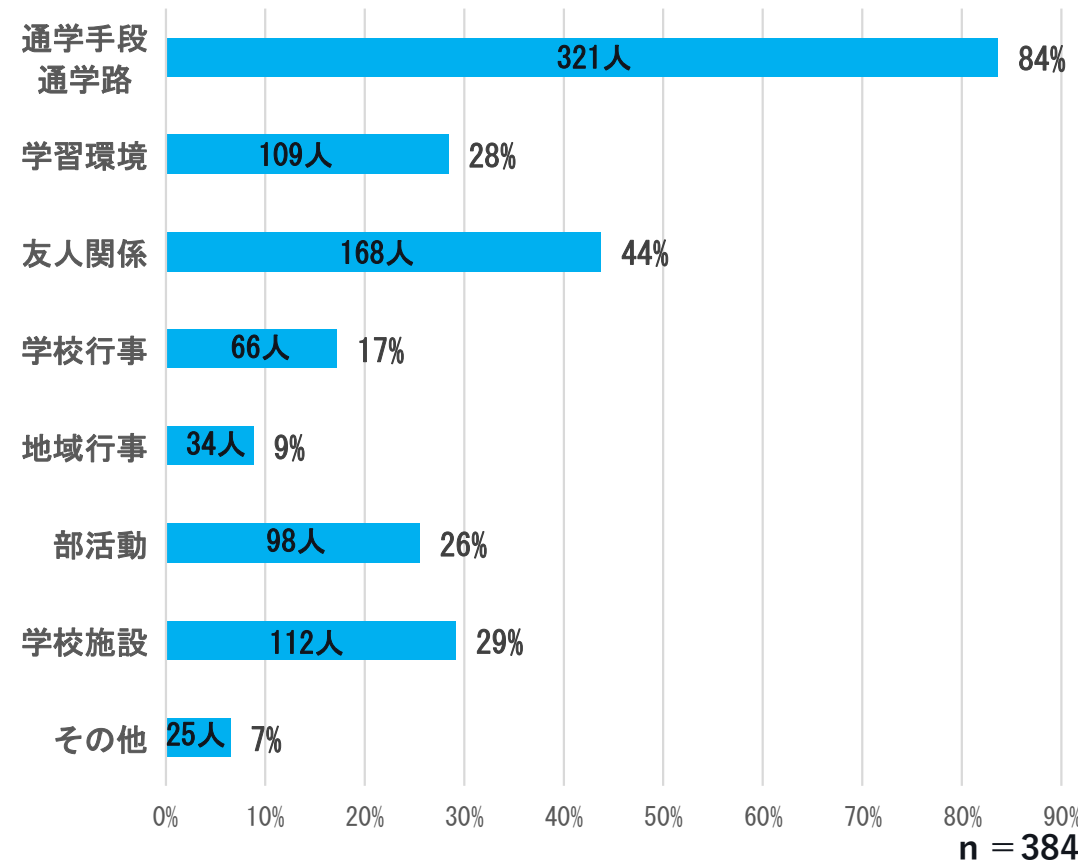
- ・ 通学距離が長くなった場合のスクールバスが心配。
- ・ スクールバスの本数や運行時間が不安。また、緊急時に親の送迎が必要になるため、通学距離が増えると負担になる。
- ・ 部活動終了後の送迎が大変。

「友人関係」の主な選択理由

- ・ 人数が増えることで友人関係が複雑になる。
- ・ いじめが増えるのではないかと心配。
- ・ 急に人数が増えて馴染めるか心配。

「学習環境」の主な選択理由

- ・ 教員の目が届かない。
- ・ 個別のサポートが不足する。
- ・ 異なる進捗で学んできた生徒の間に学力差が出る。



「通学手段・通学路」について選択した人は、通学距離の増加に伴うスクールバスの不安や、緊急時や部活動後の親の送迎が負担になるという意見がありました。

「友人関係」について選択した人は、人数が増えることで友人関係が複雑になり、いじめが増えるのではないかと心配しており、急に人数が増えて馴染めるか不安だという意見がありました。

「学習環境」について選択した人は、教員の目が届きにくく、個別のサポート不足や学力差の拡大に懸念を抱く意見がありました。

滝川市小・中学校適正配置計画に対するご意見・ご要望について

Q5：滝川市小・中学校適正配置計画に対するご意見・ご要望があればご記入ください。

施設・環境に関する意見

- ・学校施設を過ごしやすいものにすることが最優先です。冬季の通学路の除排雪を充実してほしい。
- ・合併するなら江陵中は一部でも改修すべき。
- ・第二小学校と江陵中学校をそのまま使って欲しい。
- ・新校舎の設備を惜しむことなく良いものにして欲しい。

通学・通学方法に関する意見

- ・通学距離が長くなる児童は少なからずいるため、スクールバスなどきちんと児童が登校できる環境を整えた上で統合を考えてほしい。
- ・通学の負担が保護者にも児童にもないことが条件。
- ・近くてもスクールバスが全生徒利用できるようなればいい。
- ・通いづらさを感じないようにしてほしい。

教育環境・児童サポートに関する意見

- ・教員不足を解消して欲しい。研修を増やしたり他県に見学に行くなど、教員のレベルを上げることに尽力して頂きたいです。
- ・子どもたちの心の寄り添いを考えて欲しい。
- ・教員数の確保、特に特別支援学級や通級教室への配慮をしてほしい。
- ・学校内での安全面、特にいじめ対策に力を入れて欲しい。

通学路・交通安全に関する意見

- ・登校時の事故・事件など距離が遠くなればなるほど危険度は高まると思うので、防犯対策をしっかりとしてほしい。
- ・通学路の安全性、子どもたちの通学マナーによる近隣住民への迷惑などに配慮して欲しいです。
- ・通学路を地域の方々にもわかりやすく提示してもらえると、通学路の事故防止につながると思います。

学校統合・通学区域変更に関する意見

- ・坂の上の生徒を江陵中学校に通わせる配慮が必要。学校の統合を機に通学区域の見直しを提案する。
- ・通学区域の再編成を行い、住居が近い中学校に通えるように配慮していただきたい。
- ・通学区域の適正配置を再検討してほしい。

情報提供に関する意見

- ・統合に関する情報提供が不十分。保護者説明会の参加者数が少ないのは理解できるが、今後の情報提供やアンケート等の実施方法を考える必要がある。
- ・定期的な情報開示を徹底し、透明性を確保してほしい。
- ・議論の透明性を高め、適正配置の進め方を公開してほしい。

財政・予算に関する意見

- ・財政的な観点から学校の再編の位置付けを明確にしてほしい。無駄なハコモノにしないように配慮してほしい。
- ・経済的に厳しい市だということは理解しているが、子どもたちを使って経費削減をしていくことには反対です。

その他の意見

- ・子供の立場になって適正配置計画を考えてほしい。
- ・不登校の子が増えていて、安心して通える場所の必要性が高まっていると思います。
- ・いじめのない、楽しい学校生活を提供してほしい。

アンケート調査結果まとめ

今回のアンケート結果から、滝川市の学校統合に関して、**多くの方々が統合そのものには「賛成」または「やむを得ない」と**考えていることがわかりました。特に、教育環境の維持や地域の将来に対する関心が強く表れています。また、滝川第二小学校の統合時期については意見が分かれるものの、少子化を見据え「**適切なタイミングで進めるべき**」という意見がありました。

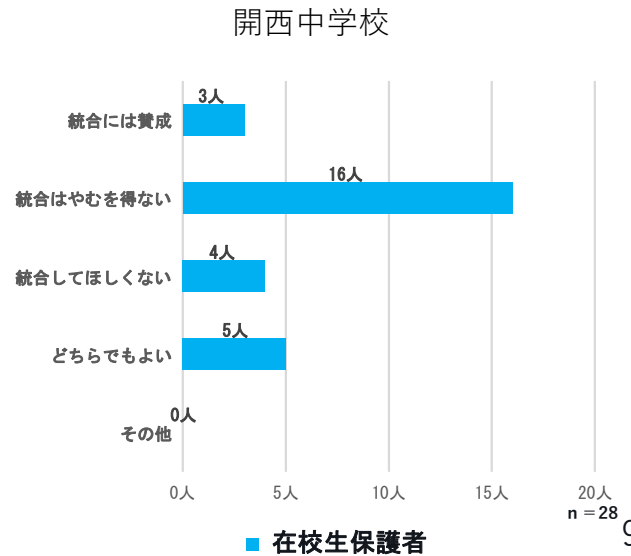
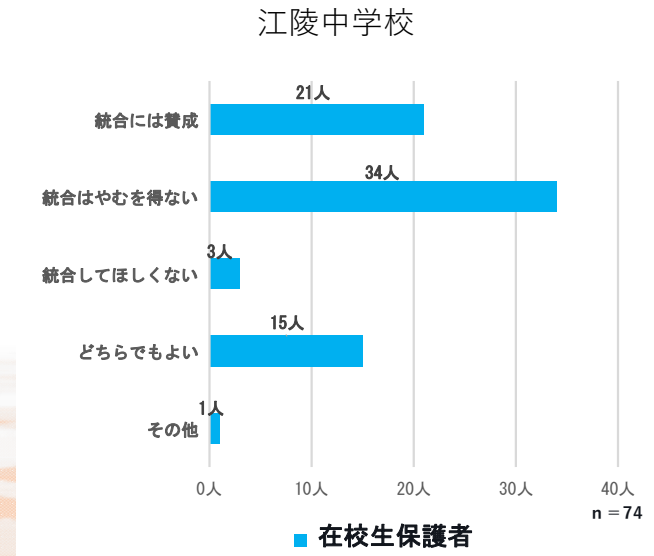
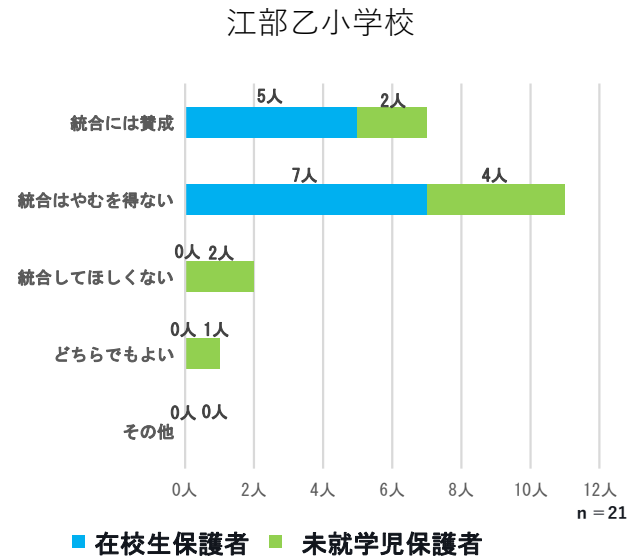
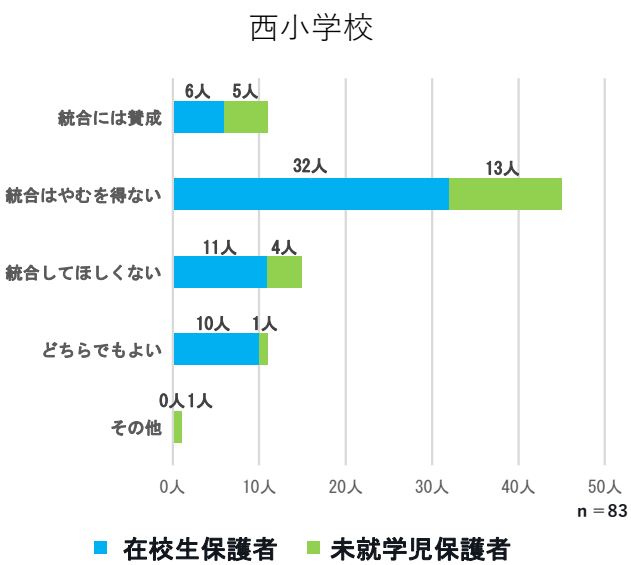
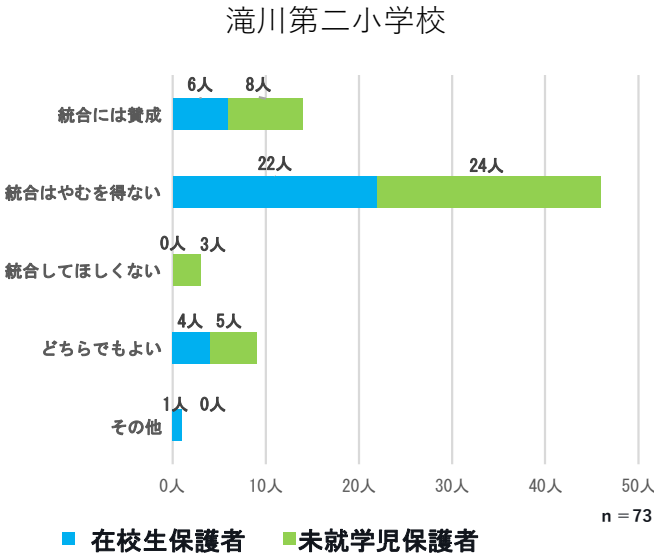
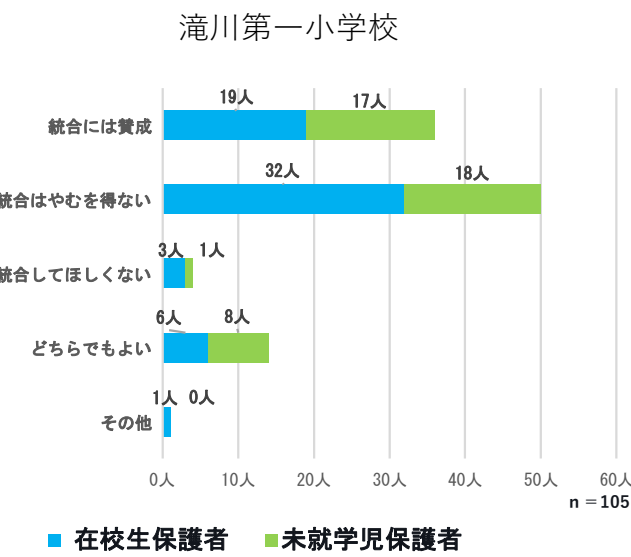
一方で、**通学手段や通学路、学校施設の整備について強い関心**が示され、特に通学の安全性や利便性に関する懸念が示されました。**通学距離の変更による、スクールバスの利用が、保護者や児童生徒にとって重要な関心事**であることがわかりました。また、江陵中学校の利用については意見が分かれています。いずれの意見にも共通して**学校施設の整備**を求める声がありました。

さらに、**教育環境や教員の知識向上、教員のサポート体制の強化、特別支援学級や通級教室の配慮に対する要望**がありました。今後は**定期的な情報開示や丁寧な説明が必要**であるという意見がありました。

通学区域別

令和13年度の小学校統合（案）について

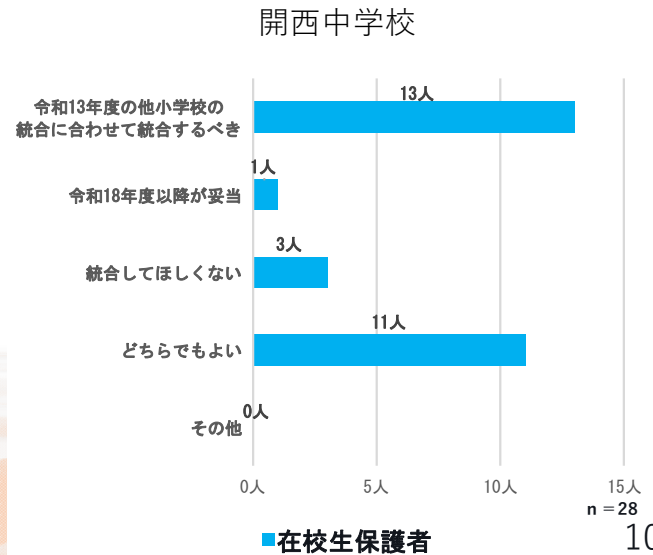
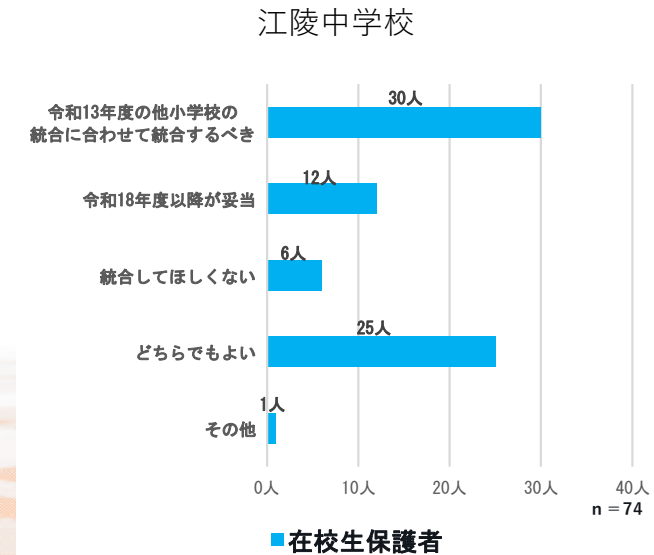
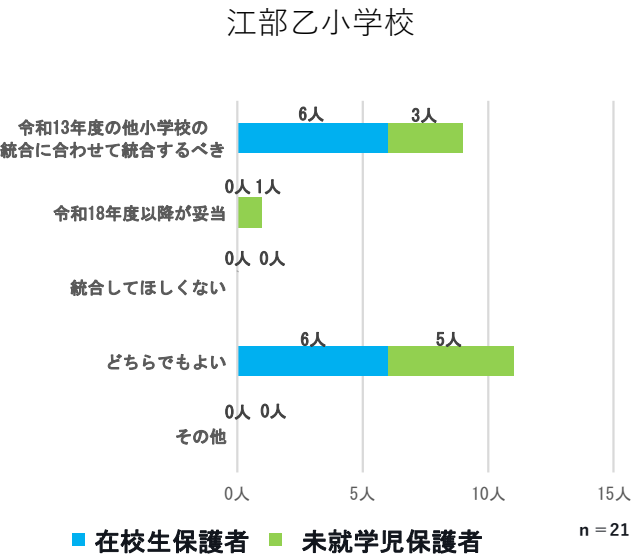
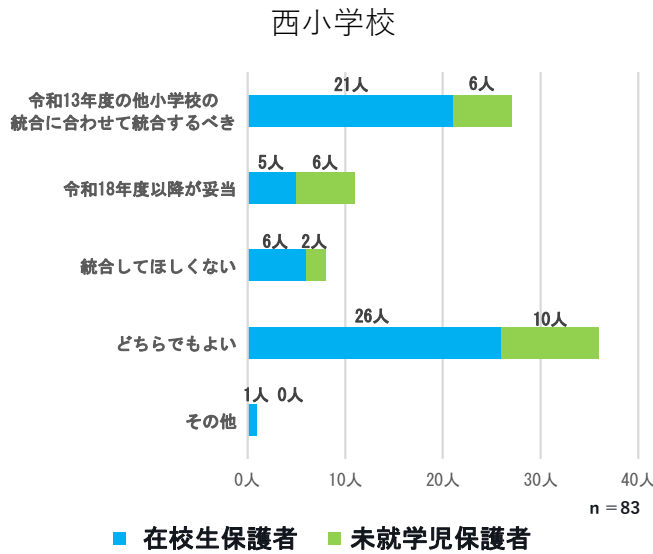
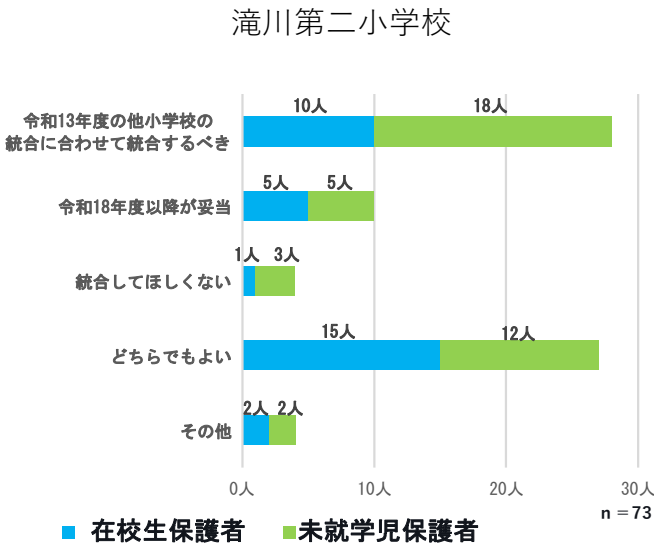
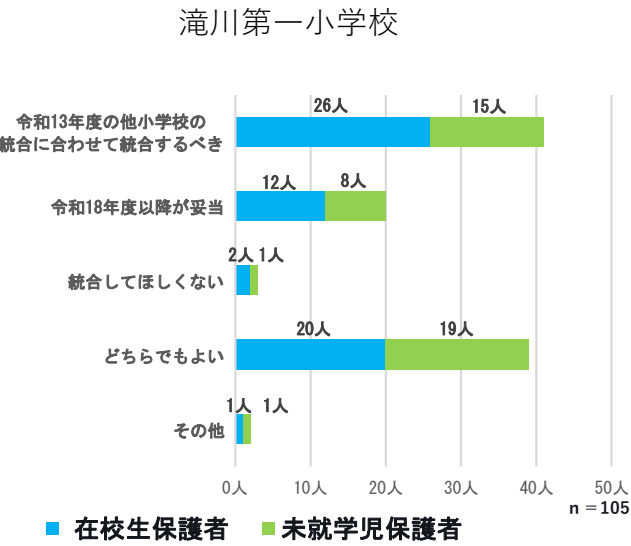
Q 1：令和13年度に小学校（滝川第一小学校、西小学校、江部乙小学校）の統合を検討していますが、あなたの考えを教えてください。



通学区域別

滝川第二小学校の統合時期について

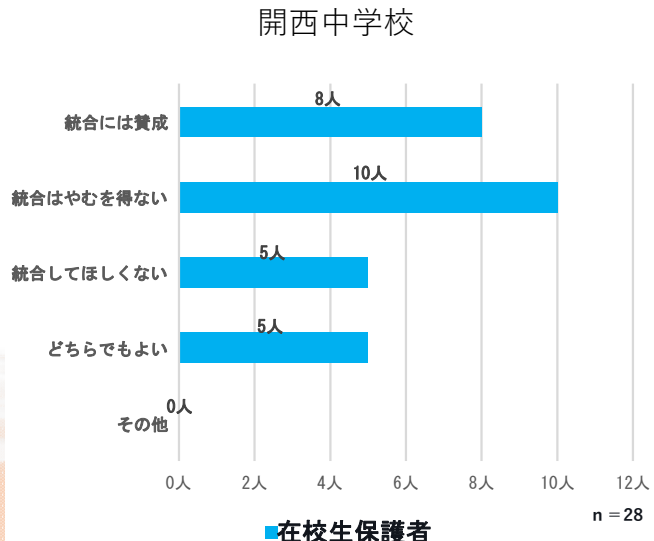
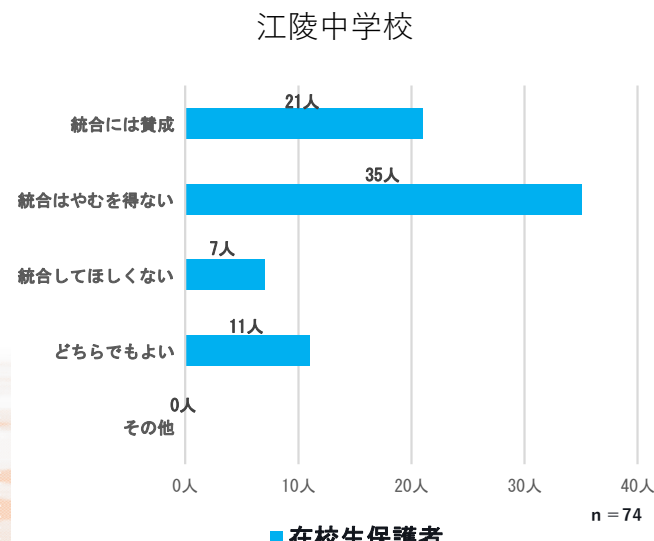
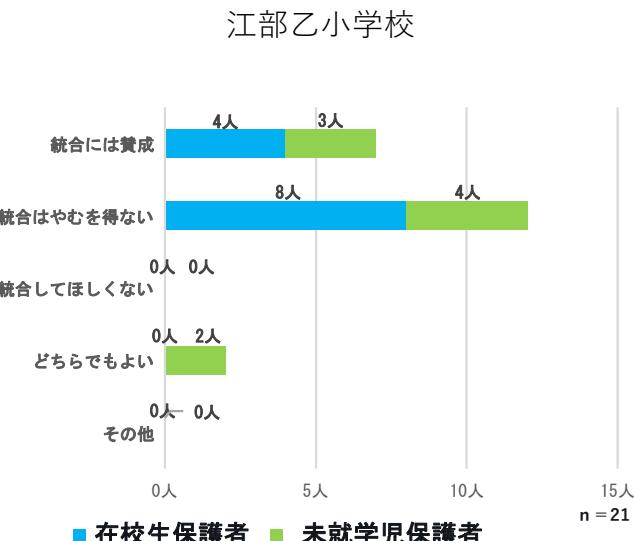
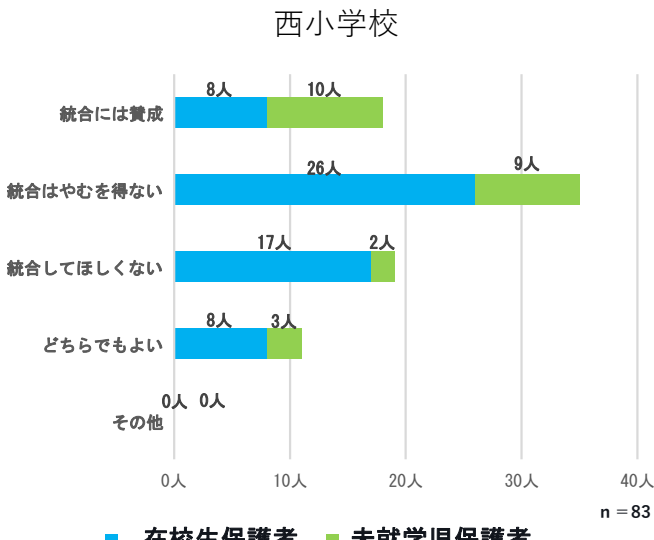
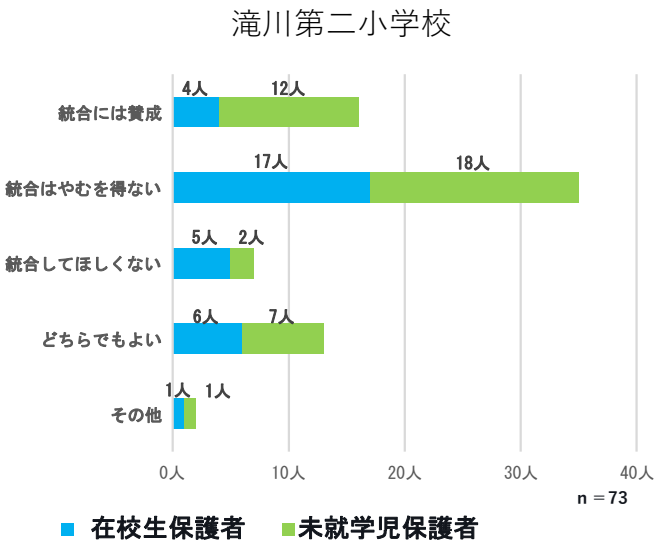
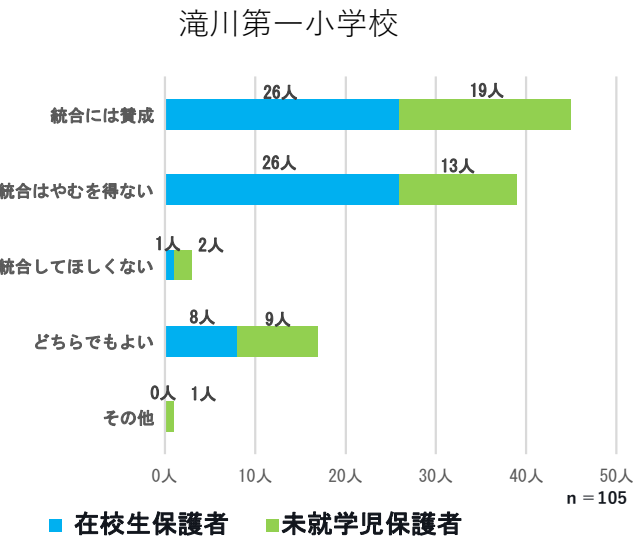
Q 2：滝川第二小学校が新小学校に統合するのは令和18年度以降とすることを検討しておりますが、あなたの考えを教えてください。



通学区域別

令和13年度の中学校統合（案）について

Q 3：令和13年度に中学校（江陵中学校、開西中学校）の統合を検討しておりますが、あなたの考えを教えてください。



通学区域別

統合に関する不安・負担・課題について（複数回答可）

Q 4：統合に関して不安・負担・課題だと感じていることについて、あなたの考えを教えてください。

